



独立行政法人国立病院機構
松江医療センター
呼吸器病センター

〒690-8556
TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019
URL <http://www.mmedc.jp/>

発行責任者
院長 事務代理 副院長
矢野修一

編集者
事務部長 上甲尚史



秋の松江(由志園)

由志園は松江市と境港市の中間にある大根島に位置し、風流な意匠をしつらえた「回遊式日本庭園」、一年中ボタンの咲く園「牡丹の館」、溶岩の山からなだれ落ちる「竜渓滝」などがある。夜の庭園は非常に幻想的な風景である。



お悔やみ	2	松江コンビック 中国プロック電動車椅子サッカー選手権大会準優勝	9
教育研修部から 教育研修部組織改編について	3～4	人事異動	9
医療安全研修「医療訴訟の傾向と対策」	5	楽しかったね！醉電	10
新人看護師リフレッシュ研修に参加して	6	しじみ会（七月七夕号、八月夏の号、九月初秋号）	10
中学生・高校生の一日看護学生・看護体験事業を実施して	6	各診療科・各部門職場紹介	11
日本筋ジストロフィー協会療育キャンプ開催	7	松江呼吸器セミナー	12～13
看護学生インターンシップを開催して	7	開業医紹介コーナー	14
サマーコンサートを通して感じたこと	8	地域医療連携室だより	15
健幸スマイル教室好評開催中です	8	外来診療表	16

基本理念 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。



お悔やみ

副院長 矢野修一

徳島院長が逝去されて早ひと月が過ぎようとしています。あの壮健な体力をお持ちであった先生が2年半に及ぶ壮絶な闘病生活を送られ、最期に力尽きてしまわれたことを想起すると改めて先生の偉大さを痛感するとともに胸が張り裂けそうな悲しみに襲われます。

私が当院に赴任して20年経ちますが、徳島先生はもうすでに当院で胸腔鏡手術を開始されておりました。保険適応もない当時、周囲の反発もあった中、積極的に胸腔鏡手術に先鞭を着けられた先生の先見の明には只々感服するのみです。手術の腕前もさることながら博愛精神はまさしく“医は仁術”を絵にかいたような先生でした。いつも我々を優しい笑顔で指導して頂き、声を荒げることが全くなかった先生にはいつまでたっても到底追いつけません。

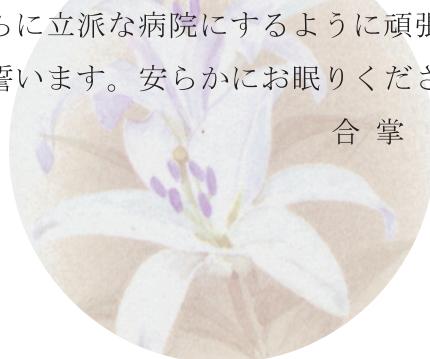
先生は昭和53年3月長崎大学を卒業され、昭和57年3月鳥取大学大学院医学研究科終了後、昭和57年4月から昭和58年3月まで鳥取県済生会境港総合病院に勤務され、昭和58年4月に国立療養所松江病院に採用され平成19年4月に院長に昇任され32年以上の長きにわたって現在の松江医療センターに至るまでの病院運営に携わってこられました。平成21年8月の病棟完成、平成25年12月の外来管理診療棟建て替えに際しては、指導力を發揮され現在の病院を完成に導いて頂きました。当院が独立行政法人化された当時はそれまでの赤字経営をいかにして黒字に転じさせるかと、その当時“泥船”と

揶揄する人もいた当院を何とか軌道に乗せられたのも先生の仁徳のお蔭だと感謝に堪えません。先生は仕事を、あの類まれな几帳面さで完璧にこなされるのは勿論のこと、仕事以外でもゴルフはシングルの腕前でした。カラオケで先生はよくクールファイブの“長崎は今日も雨だった”や田原俊彦の“抱きしめてTonight”を歌われました。

平成25年3月副院長室に話があると訪ねられ「実は胃にcarcinomaができてねえ。」と他人事のようにボソッと告げられ、絶句してしまいました。その後は凄まじい治療への忍耐と精神力、そして何より人並み外れた体力によって今年の3月には小康を得られこのまま回復するのではと錯覚してしまったほどでした。しかし残念ながら病魔は再び頭をもたげ、9月2日先生は帰らぬ人となられました。亡くなられる一ヶ月前先生の病室を訪ねた際、先生は痛みに耐えておられたと思いますが、にっこり笑ってよろしく頼むよとおっしゃいました。今でも先生がいらっしゃらないことが嘘のようです。

いつまでも我々を見守っていてください。先生の生前の御意志は必ず引き継いで職員一同でさらに立派な病院にするように頑張ることを誓います。安らかにお眠りください。

合掌



～ 教育研修コラム～

教育研修部組織改編について

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇徹

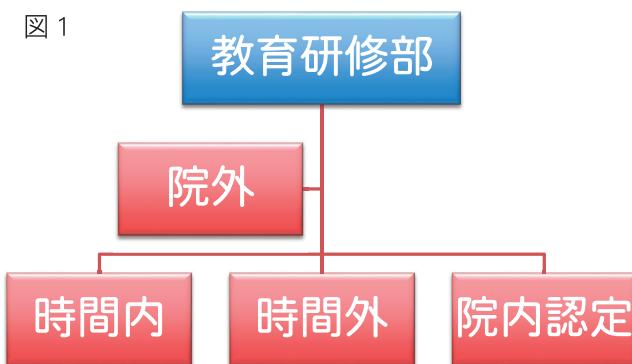
「明日のマネジメントを担うべき人材を今日準備しておかなければならぬ。人的資源を更新していくなければならない。」

このコラムでも複数回登場した当院教育部門運営の軸であるドラッカーの言葉です。

教育研修部は2009年に立ち上げた当院初の病院が運営する教育部門「医療教育研修室」を発展させる形で2011年11月に4部門体制（組織図：図1）により発足しました。4部門は下記のような業務を行ってきました。

- ①時間内部門：時間内研修（主に看護部の経年別研修（ACTyナース））の企画・運営
- ②時間外部門：時間外研修の企画・運営, DVD貸出業務
- ③院内認定部門：院内認定看護師4課程（呼吸器ケア、医療機器マスター、神経筋疾患看護、重症心身障害児（者））職員養成
- ④院外部門：臨床研修医初期研修・医学部学生臨床実習等の指導、院外向け講習会（肺疾患懇話会、松江呼吸器セミナー）の運営

図1



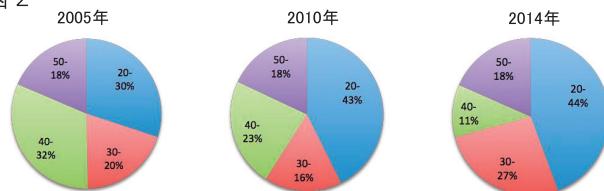
各部門はメンバーのご尽力によりスムーズな運営ができます。教育研修部設立のメリットは下記3点に集約されると自己評価しています。

- ・教育に関連する事項の窓口になりえており、全体把握が可能となった。
- ・「院内認定」システムにより人材育成が図れ、教育のひとつのアウトカムとなりえている。
- ・リクルートに有利
しかしながら、教育研修部設立後4年が経過し、院

内教育を取り巻く環境が変化してきました。そして運営していく中で放置できない問題点が見えてきました。これらに対応するため“組織改編”を行うことにしたのです。

それでは環境の変化とは何でしょうか？まず1点目。近年増加傾向の“スペシャリスト”です。“スペシャリスト”とはこの数年で複数誕生した認定看護師さんたちや前述の院内認定職員（看護師・理学療法士）さんたちです。皆さんはそのスキルを活かして研修の講師をしたり、各職場からの相談に乗ったり、問題解決にその力を発揮しています。素晴らしいことです。そして2点目。図2に示すように、当院では若い世代の常勤看護師の割合が年々増加傾向となっています。自ずとこの世代を教育のターゲットとし、みんなで育っていく必要がありますが、それを支える年代の割合が相対的に減少傾向です。現場任せではキツイだろう、ということが容易に想像できます。現場で何が求められているのか？を正確に把握する必要があり、教育研修部として対応が必要です。

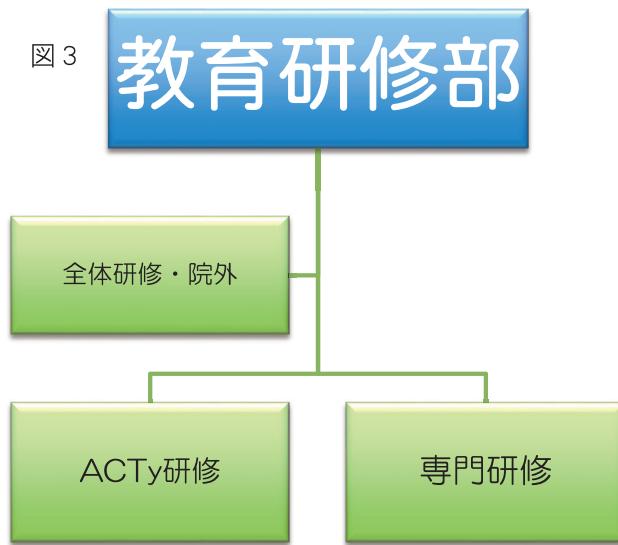
図2



それでは問題点とは何でしょうか？大きく2つあります。まず「時間内」「時間外」「院内認定」「院外」と呼称する4部門ですが、それぞれ本来定められていた実際の業務が名称と少しずつズれてきている、という問題が生じました。例えば「院内認定」部門では院内認定職員により、時間外研修の企画・運営を行うようになってきています。本来なら「時間外」部門メンバーが関わるべき仕事です。このように業務分担の境界線が曖昧になってくる事例が認められるようになりました。組織・職員の成長過程でいたしかたない現象ではありますが、この“ズレ”には早急に対処が必要です。そして問題点の2つ目。「時間外」部門は教育研修部の前身の医療教育研修室のメンバーによりスター

トしました。公募したメンバーであり、看護師以外の医療系職種でほぼメンバー構成がなされていました。時間外研修の企画・運営に精力的に取り組んでくださったメンバーでしたが、この数年でほとんど異動してしまいました。また、教育研修部設立以後は、教育研修部として年間の教育計画（カリキュラムブック）を作成するようになつたため、「時間外」部門の業務が大幅に減ってしまいました。さらに、当院の教育研修部の教育のターゲットは看護師であるため、「時間外」研修のニーズに応えるには、異動が前提のメンバー構成では長期的な教育の企画・運営が困難です。専門的な研修が主体となる「時間外」研修のメンバーには“スペシャリスト”の看護師を中心に据えた方がよいのではないかと考えるようになったのです。

図3



ドラッカーはこのような言葉も残しています。

「自らを変革できない組織では明日の変化のなかで生き残ることができない」と。

環境の変化への対応、そして問題点の解決を一気にできる可能性があるのが“組織改編”です。教育研修部はこの10月から以下のように組織改編を行い、運営いたします。

4部門構成を廃止し、3部門構成（図3）として組織改編を行い、各部門の業務を再定義します。教育のイメージは図4の通り「ACTyナースに基づく基礎（経年別）研修の上に高い専門性を追究する専門教育を行い、院外に情報発信を行う」とこととします。

①ACTy研修部門

「時間内研修部門」の実態である看護部の新人研修・経年別研修をこれまで通り行う部門。メンバーはこれ

までの「時間内研修部門」と同様。

②専門研修部門（仮）

→イメージとしては「院内認定部門」+「時間外研修部門」業務の一部。

主に時間外に専門性の高い教育を行う部門。メンバーは認定看護師・院内認定看護師を中心にその他医療系職種で行う。当院の教育のターゲットは主に看護師であるが、看護師に対して専門教育を行う上でその他多職種からの教育が必要であるため、メンバーには各職種から1名ずつ入っていただく。

③全体研修・院外部門（仮）

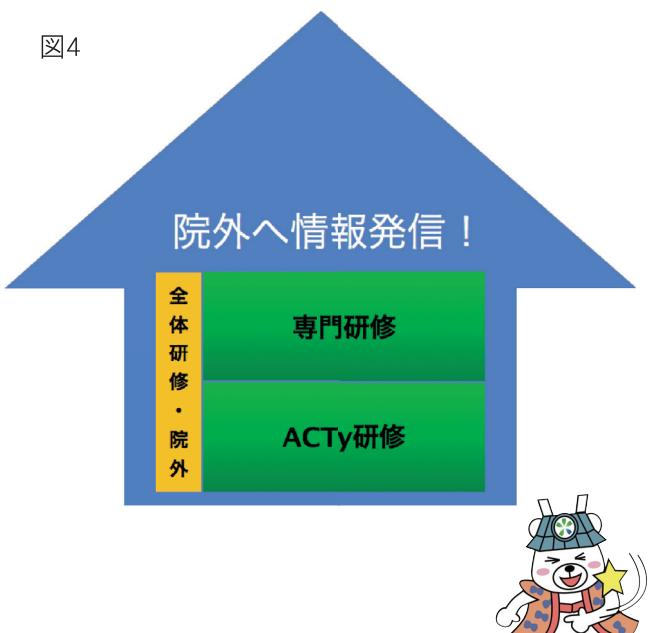
業務内容は「院外部門」業務+全体研修・伝達講習等の日程調整。メンバーは教育研修部長、教育担当師長、教育研修部事務。

これらの組織改編により得られる効果は下記の通りと考えています。

- ・会議数減
- ・実際の業務に基づく再編成であるため、特に専門研修部門において質の高い専門教育の企画運営が可能となる見込み
- ・現状では全体研修・伝達講習についての処理が困難であったが、新部門により解決する。

これからも環境の変化や問題点に遭遇した時にはその都度柔軟に対応できる教育研修部でありたいと考えております。教育研修部の運営はおかげさまで軌道に乗っております。しかしながら、よりよくするためにこのような大ナタも時には必要です。教育研修部への変わらぬご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。みんなで頑張りまっしょい！

図4



医療安全研修「医療訴訟の傾向と対策」

医療安全管理係長 小林里美

松江医療センターでは、安心・安全な医療を提供するため、年間を通じて医療安全に関する研修を行っています。平成27年7月14日には、弁護士の大元和貴先生を講師に「医療訴訟の傾向と対策」について研修を行いました。

大元先生の話によると、訴訟件数は年々増えつつあるが、1件当たりの審理期間は短縮傾向にあるとのことでした。また、医療事故が紛争の原因ではなく、対人関係や対応についての不満から訴訟になっているケースもあると話され、日ごろから患者さんやご家族との信頼関係を築いておくことが重要であると感じました。その為にも、①わかりやすい説明②細やかな気配り③心地よい療養環境の提供ができるスタッフを育成していくことが、病院の役割だと認識しました。

研修は、勤務終了後18時からでしたが、60名の参加がありました。参加したスタッフからは、「いろいろなケースの訴訟の話をもっと聞きたい」「勉強になった」「看護師の役割の重要性を認識できた」「患者さんやご家族の感情の把握がいかに重要か理解できた」等の感想が聞かれました。

医療安全管理室では、薬剤師による間違いやすい薬剤についての研修や、危険予知能力を高めるKYT研修、各部署での医療安全に関する取組の発表会などを行い、今後も一層医療安全に取り組んでいきます。病院目標の「病院の組織力を高め、温かく質の高い医療・療育を提供すること」を達成するためにも頑張ります。

当院では医療安全管理室からのお知らせを発行し、医療安全に関する情報の共有を行っています。楽しみながら読めるようキャラクターを使用したり、会話調にして、スタッフ全員に読んでもらえるように工夫しています。

医療事故を起こさない為にも、ヒヤリハット事例の情報を共有し、事故につながりそうな要因を見直すきっかけとしています。当院の昨年度のヒヤリハット報告は約2,000件でした。そのうちアクシデントは4件で、すべて骨折でした。過去には重大な事故も経験していますが、患者さんが安心して、治療・療養できるよう、スタッフ一同努力し、知識や技術の向上を行っていきます。通院、入院中に気になることがあれば、いつでも気軽に病院スタッフにお問い合わせください。

2015年10月号

NEW 医療安全管理室からのお知らせ



医療安全管理室からのお知らせが、リニューアルしたまるよ！アシスタントのおいらも忙しくなったまるよ。一人でも多くのスタッフに読んでもらえるように駆出され・・・。それはさておき、みんな知ってまるか？事故調査制度が始まったんだって。

10月1日のニュースでも事故調査制度のことが話題になってたよ！世間の関心の高さに比べると、当院のスタッフの関心は・・・。説明会の参加者が57名って、ちょっと少なくない！医療事故による死亡事例が多いわけじゃないけど、医療安全係長的には、もう少し関心を持ってもらいたいもんだねえ。



研修に参加した職員の内訳	
①医師	1名
②看護師	37名
③療養介助職	0名
④事務職	1名

えっ！57名って、うちの職員は400人くらいいるんじゃないまるか？



だいたいそんな感じかな。看護部は全員に伝達するよう頑張ってるはずよ。まだ2部署しか伝達終了の報告を受けてないけど…。

リスクマネージャー



説明会のおさらいをします！

10月1日より「事故調査制度」が始まる。事故調査制度の対象となる事例は、「医療事故による死亡」よ。

①医療に起因または起因すると思われる死亡 ②予期していなかった死亡

この2つが当てはまる死亡患者が対象となるの。じゃあ、対象となる死亡って具体的にどんなものか、みんなが気になっているのはここよね。例えば、A. 日中に食事や会話をしていた患者が、夕方から突然高熱が出て、血圧が低下し治療の効果がなく死亡した。とか、B. 食事介助中に食べ物をのどに詰まらせて、窒息死した。って説明すればわかるかしら？

でもね、Bの場合「最近よく誤嚥性肺炎を繰り返し、嚥下機能が落ちてきているため、いつ誤嚥による窒息が起きててもおかしくない状況」ってことが説明されたり、記録に残っていれば、予期せぬ死には当てはまらないとされているのよ。



キーワードは「予期せぬ死」「医療事故による死」まる。当たり前だけど、予期していても、事故による死は対象となるまる。予期していない死の判断は誰がするまるか？



そこは医師の出番でしょ！医師が判断できるように、重症患者の情報やヒヤリハットの情報は、タイムリーに報告や相談でおかないといね。事前の情報がないと、病状の悪化なのに突然死なったと判断されちゃうわね。



今月の名言

「何とかなる
それはやることをちゃんと
やってる人のセリフ！」
リトルミイの名言集より



副院長

医療事故が起きないよう、手順やルールを守ってくれよ！
ヒヤリハットをどんどん報告して、事故になる前に回避する策を立てるんだぞ。



新人看護師リフレッシュ研修に参加して

4階東病棟 看護師 遠藤杏奈

もうすっかり秋の風が吹いていますが、初夏に行つた新人看護師のリフレッシュ研修についてのご報告をします。6月19~20日と1泊2日で指導者の方々と新人看護師22名で、美保関の多古鼻に宿泊しました。研修は松江医療センターに入職し3ヶ月、看護師として働くことに少し慣れ始めたころでした。夢だった看護師として働き、看護のやりがいだけでなく、奥深さを感じたのと同時に、自分のできないこともまだまだ多いなと感じていた頃にこの研修に参加させていただきました。

初日はまず病院内会議室にて、仕事の中で自分ができるようになったこと、うれしかったこと、困ったことについてグループワークを行いました。もっとも多かった意見は「患者さんにありがとうと言ってもらえた時が一番うれしい。」という意見でした。私も同じように患者さんからの温かい言葉や表情がとってもうれしく励されます。また、できないことや悩みもグループで共感でき、明るい気持ちで研修を始めることができました。

グループワーク終了後、大きな荷物を持ってバスで美保関にある多古鼻へ移動し、班に分かれ夕飯の準備を行いました。夕飯は多数決で決定したBBQです。みんなで協力し、火を起こし、野菜を切り、おにぎりを作りました。看護部長さんをはじめ、病棟師長さんや副看護師長さんが仕事を終えて差し入れを持って来てくださいました。たくさんの差し入れも頂いて、ワイワイ楽しく夜を過ごすことが出来ました。

2日目は登山です。私は少し嫌だったので、寝る前から雨が降らないかなと願いましたが、翌朝の天気は曇りのち晴れ。無事、登山に挑みました。山は美保関

にある馬着山でガイドさんに案内をしていただきました。「今年は例年に比べて、易しい山にした。」と聞いていました。大山や日本海が見える景色の良いところからスタートしましたが、徐々に階段が山道に変わり、山あり谷あり…。最初は和気あいあいと楽しく話しながら登っていましたが、途中から皆、ガイドさんを追いかける事に必死になっていたのを思い出します。一步一歩進み、ようやくたどり着いたゴールの公園では登り切った達成感でいっぱいでした。朝握った塩おにぎりがとてもおいしく感じました。そして、山頂でガイドさんに煎れて頂いた抹茶が、とてもいい思い出です。ガイドさんより、「嫌だ嫌だと思いながら下を向いて歩くのではなく、景色を楽しみながら山を登るとやがて山頂に着く。仕事や人生にも同じようなことが言える。」と教えていただきました。私も同じゴールを目指す仲間と一緒にいたから、足を止めずに頑張れたと思うし、この言葉を聞いて、仕事やこれから的人生において前を向いて進んでいこうという気持ちになりました。

天気も無事に晴れ、リフレッシュ研修の最後を登山で締めくくることができ、本当に良かったです。

この研修で再確認できた仲間の頼もしさと、教訓を日々の看護の中で生かしていきたいと思います。



「中学生・高校生の一日看護学生・看護体験事業」を実施して

4階西病棟 看護師 山本菜保子

8月4日、島根県看護協会の「中学生・高校生の一日看護学生・看護体験事業」に、10名の高校生が参加しました。将来、看護の道に進みたいと思っている方が多く、実際に白衣に着替えると笑顔になりとても嬉しそうでしたが、「身が引き締まる思いがする。」と言っていました。



看護体験では1階、2階、4階西、4階東、5階病棟に分かれ、担当看護師と一緒にケアを行いました。学生さんは、患者さんのベッドサイドで行われるバイタルサイン測定や清拭、移動・移乗介助や点滴実施など様々な看護実践を見学・体験しました。初めて見ることばかりで緊張気味でしたが、徐々に笑顔が見られるようになりました。また、患者さんの食事について管理栄養士の講義を受け、実際に病院食を試食し、患者さんの療養生活の一部を体験しました。

私達看護師の患者さんに接する姿を見て、学生さんからは「看護師さんは、一人ひとりの患者さんに伝わるように分かりやすく丁寧に説明していました。患者さんに寄り添える看護師さんって、キラキラしていてかっこいい。前よりもっと看護師になりたいと思った。」等の声を聞くことができました。学生さんの話を聞いて、私はあらためて看護師として責任のある仕事が出来るように頑張っていきたいと思いました。

日本筋ジストロフィー協会療育キャンプ開催 療育指導室長 塩治悦子

日本筋ジストロフィー協会は、昭和39年に「全国筋肉萎縮症児親の会」として結成され、翌年昭和40年に名称を変えて、以来、50余年の長きに渡り、「根本治療法の開発促進」と「患者処遇の改善」を大きな目標として、懸命な活動を続けておられる団体です。

当院の多くの入院・外来の筋ジストロフィーの患者さんも会員として活動されており、その活動の中で昭和50年から毎年開催されているのが「島根県療育キャンプ」です。

今年で数えて41回目になりましたが、毎回、在宅のかたが多く参加され、学習会・個別相談会などを行っています。

今回は7月11日から1泊2日の日程で開催されました。学習会では、国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長の塙中征哉先生に2年ぶりに当院にお越しいただき、筋ジストロフィーの治療研究についてのご講演を賜りました。

講演の後、会員の皆さん、バスで一路大阪へ。希望されたかたは医師や看護師、リハビリテーション科、療育指導室スタッフによる医療・福祉の個別相談を受けられ、その後は大阪の観光を楽しまれました。

この療育キャンプは、研修・学習はもちろんですが、年に1回、会員の方々が再会し、親睦を深め、また新しい1年を前向きに過ごすための活力にもなっているように感じます。当院としましても、在宅支援の一つとして、今後も支援を継続していきたいと思っています。



看護学生インターンシップを開催して

3階病棟 看護師 藤原美緒



平成27年7月4日・5日に最終学年の看護学生を対象としたインターンシップを開催しました。看護師募集活動として、体験学習を通して当院が専門とする看護について楽しく学習する中で興味を持ち、就職に繋げができるよう体験内容を計画しました。4日は1階・2階・3階・4階東病棟で11名の学生に、5日は4階西・5階病棟で7名の学生にそれぞれ体験していただきました。県内は松江市や出雲市から、県外は鳥取県や岡山県の看護学校からの参加がありました。

まずはオリエンテーションとして病院概要説明や病棟紹介を行った後に、各病棟へ体験に行っていただきました。申し込み時に体験希望病棟を選択していただいていたので数人ずつに分かれ、午前と午後の1時間ずつを別の病棟で体験できるようにしました。

私は4日の担当として配属されている3階病棟体験の計画をし、当日も担当をしました。看護学校の実習では、重症心身障害児(者)病棟に行かれることが少ないようで、初めて重心患者さんと関わる方もおられました。一人ひとりの患者さんでコミュニケーション方法が違うため、最初は戸惑った様子も見られましたが、徐々に打ち解けて笑顔で関わっている姿が見られました。また、食事の様子を見学してもらい、嚥下状態に合わせた食形態や食事介助方法も多種多様であることを実際に見てもらいました。興味を持って真剣に聞いている姿や反応から、当院の看護への関心を高めていただけたのではないかと感じました。

2日間のインターンシップを通して、看護学生に当院の医療・看護について理解してもらえ、当院に就職したいという思いを持つ機会となれば幸いです。



サマーコンサートを通して感じたこと

1階病棟 看護師 藤川 幸代

平成27年7月30日、広島県よりヴィオラ奏者の沖田孝司様、妻でピアノ奏者の千春様にお越しいただいて、「生の演奏に触れる事で、楽しい時間が過ごせること」をテーマに、サマーコンサートを開催しました。

サマーコンサートには、患者様やご家族を含め、約100名の参加がありました。今回、初の試みとして、沖田ご夫妻が作詞作曲された「あなたに逢えてよかったです」という曲を、看護部長をはじめ、療育指導室の協力を得て、手話をしながら、皆様と一緒に歌いました。美しいヴィオラとピアノの演奏、そして楽しいトークを聴き、参加された方々から喜びの声が聞かれ、笑顔もたくさん見ることができました。また、感動の涙を流されている方もおられました。手話をを行うことにより、更に音楽を楽しむことができたと思います。コンサート終了時には、たくさんの拍手が沸き起きました。

私は今回、初めて司会を務めさせていただきました。とても緊張しましたが、司会という立場から、参加される皆様の表情を間近で見て、感動を感じることができました。実際に私も司会という立場ではありましたが、生のヴィオラとピアノ演奏を聴き、とても癒され、良い時間を過ごすことができました。長期間入院をしておられる患者様にとっても、幸せで有意義な時間になったと思います。

サマーコンサートを開催するにあたり、素敵な演奏をしていただいた沖田ご夫妻をはじめ、協力してくださったスタッフの皆様、本当にありがとうございました。今後も、皆様に喜んでいただけるようなイベントを企画し、開催していきたいと思います。どうか、ご協力よろしくお願い致します。



健幸スマイル教室好評開催中です

2階病棟 副看護師長 柳浦京子

看護広報委員会では、入院患者さんや外来患者さんとそのご家族に、健康で幸せな毎日を送っていただき、笑顔で生活して頂けることを願い、毎月第3月曜日に「健幸スマイル教室」を開催しています。興味のある方はぜひ参加してみてください。

日時：毎月第3月曜日 15時～15時30分 場所：5階病棟 研修室

日程	10月19日	11月16日	12月21日	1月18日
テーマ	風邪予防	インフルエンザについて	ノロ対策	リラクゼーション
講師	看護師	看護師	認定看護師	PT
日程	2月15日	3月28日		
テーマ	転倒防止について	癌化学療法について		
講師	看護師	認定看護師		



松江コンビック 中国ブロック電動車椅子サッカー選手権大会準優勝

2階病棟患者 伊藤慶祐

私たち松江コンビックは2006年に車椅子サッカーチームを結成しました。主に松江医療センターを拠点として療育指導室の方・リハビリテーション科の方やボランティアの方などの支援をいただきながら活動しています。

さて「電動車椅子サッカー」というのは電動車椅子にバンパーと呼ばれる足の周りを覆う金属製のフレームを取り付けて、フィールド内4人で行うサッカーです。

2015年9月12日、第16回中国ブロック選手権大会第一試合対トルネード広島戦、ほどよい緊張感のなか試合が始まりました。序盤は一進一退の攻防でしたが、前半13分、競り合いからボールが高い位置でタッチラインを割りキックイン（サッカーでいうスローインのこと。）をもらい、下手一将の縦パスから直接、伊藤慶祐（著者のこと。以下、僕）がシュートを打ち、ゴールポストに弾かれたボールをそのまま詰めて1対0とし、このまま試合は動かず何とか勝ちました。選手達は次戦を見据えてか気持ちとは裏腹にとても冷静に勝ちを受け止めていました。続く第二試合対ハイプロワーズ広島戦、決勝進出のプレッシャーを感じながら試合が始まりました。序盤から相手のペースで前半11分、僕がドリブルで掛け上がり相手陣ゴールから4m離れた中央の位置でツー・オン・ワン（ボールを保持している選手に対して半径3m以内に選手2人以上でボールを奪いにくく取られるファウル。）でフリーキックをもらいました。水口隼太と僕がゴールポストに構え、下手一将が出したパスは僕が後輪後方でシュートを流し込み1対0としました。後半6分、なおも相手のペースで試合が進んでいき、競り合いからボールがタッチラインを割って自陣のやや深い位置でキックインを与えてしまい、守備の隙を付かれて引き分けとされその後、試合は動きませんでした。グループリーグで松江コンビックとハイプロワーズ広島が同率一位で時間が押していたため、じやんけんで勝った松江コンビックが決勝進出となりました。

決勝戦対広島マインツ戦、前回大会では6対0と完敗を喫していたこともあり最後まで松江コンビックらしく「楽しくサッカー」しようと互いに励まし合いました。結果として3対0と振るわなかつたものの準優勝という結果を残すことができ、それは身に付けているユニフォームのカナリアカラーに恥じない活躍だったのではないかでしょうか。今後も、コンビックの理念に則りつつ実力アップに向けて練習に励み、チャンスがあれば全国大会を目指して活動していきたいと思います。



人事異動

発令月日	事 項	職 名	氏 名	備 考
H27. 9. 2	退 職	院 長	徳 島 武	死 亡 退 職

「楽しかったね！酔電」

医療安全管理係長 小林里美

職員の親睦を深めるために、平成27年8月5日一畑電鉄が企画している「酔電」で、納涼会を行いました。全職員に参加を呼びかけ、副院長をはじめ、医師、臨床検査技師、栄養士、看護師、児童指導員、事務職など28名の参加がありました。

宍道湖温泉駅から電車に乗り込み、美味しい料理をいただきながら、飲んで、騒いで、職種の壁を越えて交流を行いました。途中のトイレ休憩でコンビニまで足を延ばし、アイスクリームやワイン、おやつを買い、プライベートな会話を楽しみました。

医療の現場では、コミュニケーションが重要です。プライベートで仲良くなると、仕事上でのコミュニケーションも円滑になり、コミュニケーションエラーによるインシデントも減少し質の良い医療が提供できると考えます。今後も、職員間の交流を深めつつ、息抜きができるような企画を実施していきます。今回参加されなかった方も、次回の企画には、ぜひご参加ください。



しじみ会【七月七夕号、八月夏の号、九月初秋号】

リハビリテーション科 作業療法士

・夏休み 孫たち笑顔 目に浮かび
「となりの住人」

・新入生 安全マークで 元気よく
「ふくろうさん」

・棚田にて 青田の風に うたれけり
「京の静さん」

・蝉の声 急なる涼に 静まれり 「Nさん」

・大事だよ イヤーな気持ちになった時
本音で言える関係づくり 「愛佳さん」

・アカシアの 花の香りで蘇る
去年（こぞ）の洞爺の 淡き恋の日
「すんなびさん」

・蝉しぐれ 声が消えつつ 夏終わる
「カラス貝さん」

・待ちきれず 梅雨空にらみ プール出す
「小次郎さん」

・聞こえくる ラジオ体操 夏の朝
「三度笠さん」

・梅雨空は 木々の葉みどり 目に染みる
「学生小谷さん」

・ありがたや わざかに動く左指
ライトの下で妻の肩もむ 「中ちゃん」



各診療科・各部門職場紹介

臨床検査科は目次臨床検査科長の元、臨床検査技師8名、検査助手1名で検体検査(生化学、血液、免疫、尿、細菌、病理など)と生理検査(心電図、肺機能、脳波、超音波、PSG検査など)を行っています。

松江医療センターの検査内容に関しては、呼吸機能検査、呼吸器疾患関連マーカー検査、抗酸菌検査など呼吸器疾患に関連した検査項目が多い特徴があります。また、気管支鏡検査では、現場で臨床検査技師が迅速細胞診検査、細菌塗抹標本作成などに携わっています。

今後とも進化する診断医療技術を積極的に取り入れ、“迅速、正確な検査”をスローガンに、皆様に安心して検査を受けて頂けるよう、検査科一同、研鑽を積んでいきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



臨床検査科



(前列中央：目次臨床検査科長)

栄養管理室

私たち栄養管理室はチーム医療の一翼を担い、衛生的である事を第一とし、患者さん個々の症状に即した食事、疾病の治療に貢献することを目標にしています。

しかしそれだけではありません。季節ものを取り入れたり、食事を楽しんでいただく事も心がけています。



リハビリテーション科

機能*生活*生きがい

を考慮したリハビリテーションを行っています。

◎呼吸リハビリテーションに力を入れています。

◎定期的な短期入院などで機能のチェックを行い、在宅ケアのサポートも行っています。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が各々の専門性を活かし、他職種と連携を取りながら対応しています。



第6回 松江医療センター講演会
松江呼吸器セミナー

キワメル！ 非侵襲的 呼吸管理

～N P P Vを成功させる ひと工夫～



講演 1 「B C V × N P P V」
呼吸器内科医師 西川 恵美子



講演 2 「ハイフローセラピー（H F T）の可能性」
主任臨床工学技士 笠置 龍司



N P P Vマスクフィッティング相談
慢性呼吸器疾患看護認定看護師・呼吸療法認定士 勝田 聖子



講演 3 「リハビリにおける非侵襲的呼吸管理の有用性」
理学療法士・呼吸療法認定士 加藤 保



講演 4 「コラボでうまくいく！これからのN P P V」
呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

12/5
土
五

12/5 [sat]
9:30-13:00

受講料：一般 ¥2,000 定員：150名

会場：国立病院機構松江医療センター
3F 大会議室

※ 3学会合同呼吸療法認定士認定委員会
認可講習会 <12.5点取得可能>



松江呼吸器セミナー

検索

N P P V・B C Vの機器展示も行います

お申込み方法

下記の注意事項を必ずお読みいただきご了承いただいた上で、メールにてお申込みください。

 **kyoiku@mmedc.jp**

件名：「松江呼吸器セミナー申込」

本文：①氏名 ②ふりがな ③施設名 ④職種 ⑤受講証明書の要・不要 ⑥駐車場利用の有・無

受付期間

期間内においても定員150名に達し次第、受付を締切りとさせていただきます。

 **平成27年9月1日 (火) ~ 11月27日 (金)**

注意事項

▼お申込みは原則先着順です。お席に限りがございますので、お早めにお申込みください。

▼事務局より、お申込みいただいたメールアドレスへ整理番号を記載したメールをお送りいたしますので、必ずご確認くださいますようお願いいたします。

▼お申込みいただいた内容に不備のある場合は、お申込みを無効とさせていただく場合がございます。
予め内容をご確認の上、お申込みくださいますようお願いいたします。

▼受講料は受付にて現金でお支払いください。その際、なるべくお釣りのないようご協力をお願いいたします。

▼お車でお越しの際は、当院有料駐車場をご利用ください。(入庫後6時間までは、駐車料金100円でご利用いただけます。)

▼セミナー終了後、受講証明書をお渡しいたします。お帰りの際、受付にてお受け取りください。
遅刻や早退をされた参加者には受講証明書の発行はいたしかねます。また、紛失等いかなる理由でも受講証明書の再発行はいたしませんので、予めご了承ください。

▼お申込みから1週間が経過しても事務局よりメールが届かない場合、または参加をキャンセルされる場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

▼お申込み時にご入力いただいた個人情報は、本セミナーの実施運営にのみ使用し、終了後は速やかに破棄いたします。

会場案内

〒690-8556 島根県松江市上乃木5丁目8番31号

 **国立病院機構 松江医療センター 3F大会議室**

▼松江呼吸器セミナー事務局：教育研修部

 (0852) 21-6131 (代表)  (0852) 27-1019

 kyoiku@mmedc.jp  <http://www.mmedc.jp/>

開業医紹介コーナー



小竹原医院

当院は、昭和61年7月に付属小中学校付近の大輪町で開院しました。私が、内科・小児科を副院長の安見が皮膚科を診ています。私と呼吸器病との出会いは、「がんセンターに研修にいかないか？」です。築地がんセンターでは、気管支鏡は池田茂人先生に胸部写真読影は鈴木明先生に薰陶を得（思えば贅沢な環境）、特に、鈴木明先生に、結研読影の基礎を教わりました。東邦大学大森病院で肺癌診療とともに睡眠脳波と換気応答など睡眠時無呼吸で日々過ごしてましたが、妻安見と20数年ぶりに帰松し、市内の変貌に驚きながら、国立病院の病棟になつかしさなど感じてました。開業も長くなりますが、専門がというより日々様々な事象に出会い、勤務医時代に出会う病状の一歩前を診ることに戸惑うこと多い中、画像診断機器の利用や外来医・入院主治医先生方の丁寧で開放的な対応には助けられ感謝しています。医療センターの建物など一新され新しい時代を感じさせてくれます。ますます期待のかかる頃、新病院建設に尽力し、胸部外科での素晴らしい業績と温かみあふれる笑顔の徳島武先生が鬼籍に入られたことは実に悔しく思います。



医療センター支援で肺がん検診も始まります。今後ともよろしく願います。



小竹原医院

(内科・小児科・皮膚科)

院長 小竹原 良雄

診療時間

月～土 午前 9:00-12:30

午後 15:00-18:00

(皮膚科午後診察は 16:00-18:00)

休診 木曜日の午後・日・祝

〒690-0882

松江市大輪町396-1

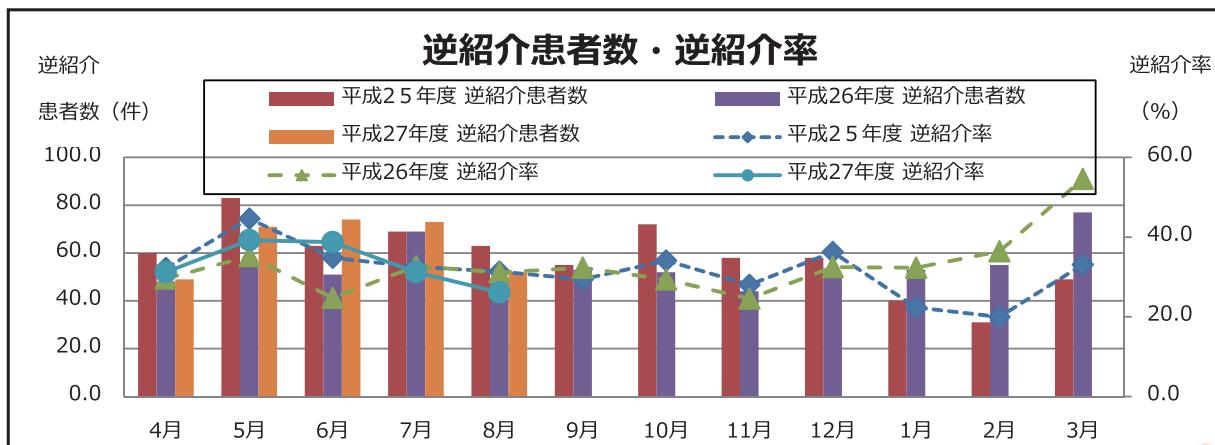
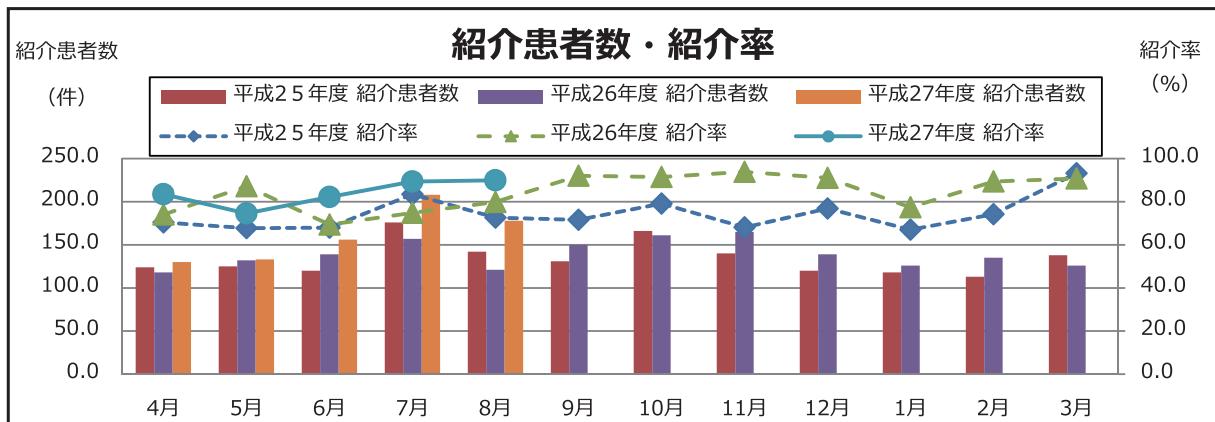
電話 0852-25-3223

地域医療連携室だより 第21号

2015年10月



1. 紹介患者数・紹介率／逆紹介患者数・逆紹介率の推移



2. 退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者 退院先	48人	50人	40人	55人	33人							
在 宅	7人	16人	14人	17人	12人							
施 設	2人	4人	3人	1人	0人							
病 院	2人	0人	2人	1人	0人							



※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させて頂いた患者さんの割合です。

逆紹介率=逆紹介患者数÷初診患者数（休日、夜間の救急患者数を除く。）

外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成27年10月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科	神田	小林	木村	門脇	池田		【呼吸器内科】
	多田	神田	岩本	西川	木村		矢野 修一 【副院長】呼吸器一般（肺循環・肺がん・結核他）
	矢野	門脇	池田	矢野	小林		池田 敏和 【統括診療部長】呼吸器一般
神経内科	隔週 鳥大医師	下山		足立			小林賀奈子 呼吸器一般
	鳥取大学医学部医師の診療予定日（隔週金曜日） 10月26日・11月9日・12月8日・12月22日						木村 雅広 呼吸器一般
外科	伊藤		目次		松居		門脇 徹 呼吸器一般
	久保田 (予約)	齋田 久保田 (予約)	齋田 (予約)	久保田 齋田 (予約)	齋田 (予約)		神田 韶 呼吸器一般
小児科	発達 専門外来		久保田		久保田		多田 光宏 呼吸器一般
	予防接種	(予約)					岩本 信一 呼吸器一般
特	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	西川恵美子 呼吸器一般
	睡眠時無呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		
	息切れ外来		呼吸器内科 担当医(予約)				
殊	喘息 アレルギー外来					池田 (予約)	【外科】
	咳嗽外来					池田 (予約)	目次 裕之 伊藤 則正 松居 真司 呼吸器外科・一般外科
外	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		齋田 泰子 久保田智香 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害
	アスベスト外来		小林 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)		発達障害・重度心身障害
来	嚥下障害 外来		下山 (予約)				【小児科】
	神經難病 外来		下山		足立芳樹		西村友紀子 発達障害・重度心身障害
特 殊 外 来	筋ジストロフィー ^{筋ジストロ} 専門外来				下山 (予約)		【麻酔科】
	セカンド オピニオン 外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	西村友紀子 麻酔科領域

診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30
自動再来受付 8:00~11:30独立行政法人
国立病院機構

松江医療センター

呼吸器病センター

〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号

電話 (0852) 21-6131(代)

医療連携室直通電話 (0852) 24-7671

医療連携室FAX (0852) 24-7661

特 殊 外 来	小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戲療法も行っています。
	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,400円
	睡眠時無呼吸 外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息 アレルギー外来	診療日：毎週月・金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週月・金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳（せき）や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿（アスベスト）曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	嚥下障害外来	診療日：毎週火曜日 9:00～12:00 嚥下障害外来（要予約）
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来